



牧野富太郎博士生誕160年のイベントがスタートしました!!  
4月23日からの生誕祭に先駆け、16日より牧野公園の花見棟で「第4回牧野公園写真コンテスト」の展示が始まりました(5月8日まで)。公園の魅力が詰まった数々の写真が、訪れた人々の目を楽しませています。また、ふるさと館では、「拝啓 牧野富太郎さんへの手紙」展や、牧野公園の植物をモチーフにした「刺しゅう展」も開催されています(6月15日まで)。これからも様々なイベントが予定されていますので、みなさんもぜひお楽しみ下さい。



牧野公園の魅力や  
物語が詰まった  
情趣ある入賞作品

審査委員長 反田浩昭

牧野富太郎博士生誕記念イベントの一環として「牧野公園写真コンテスト(主催:牧野富太郎博士生誕祭実行委員会)」を開催しました。四季の牧野公園の魅力や、好きな牧野公園の1コマなど、町内外から121点の応募がありました。これらの作品は、4月16日から5月8日にかけて、牧野公園花見棟にて展示します。

寿衛子賞「月下の夜桜」井上雅次

寸評:技術的にはストロボを一回発光させ、桜が暗闇に浮かびあがるよう撮影しています。構図的には桜の上に月をうまく配置することで、見る人に様々なストーリーを想像させる魅力を写真に与えています。私には、月の光と寿衛子さんのイメージが重なるような感じがしました。(反田)



富太郎賞  
「てっぺんの春!」  
岩本洋美

寸評:桜の木を大胆に入れ込み、夕方の色味を生かして撮影された写真。構図、撮影をした時刻、共に優れています。中央にいる人には動きが感じられ、よいアクセントになっています。(反田)  
左に張り出しているのは、牧野公園のシンボル「物見岩」近くの古い桜の木なのですが、頑張って生きているという力強さすら感じられる構図に驚きました。(審査員A)



町長賞「花吹雪」上野登志

寸評:子育て世代のお母さん、そして子どもの未来が感じられるほのぼのとした空気感に惹かれた。即決!!(町長)

桜の花びらが舞った瞬間、とっさに撮影したのと思われます。一見、何気ないスナップショットに見えますが、花びらの有無で印象は大きく変わります。花びらを写し込むことによって、写真により物語が生まれています。(反田)



牧野公園賞  
「桜を独り占め」吉村純三

寸評:凸レンズか水晶玉のようなものを使い撮影し、手を構図内に残すことでタイトル通りの世界観に写真を仕上げています。発想が面白い。(反田)



「ゲームより夢中」田中敬弘

寸評:シンプルに可愛らしいと感じた。この子の作品も見てみたい。(審査員B)  
無邪気に花に向かう姿が心に残った。(審査員C)



PICK UP CONTENTS

- P 2 第4回牧野公園写真コンテスト
- P 4 機構改編・職員異動
- P 6 高北病院
- P 7 かわせみからのおしらせ
- P 8 おしらせ
- P 14 ボタニカルニュース
- P 15 さかわ観光協会
- P 16 さかわ発明ラボNEWS
- P 18 地質館だより
- P 19 青山文庫だより
- P 20 としょかんだより
- P 21 さかわ学校だより-尾川小中学校-